

事業シート(平成31年度決算)

26_林務課_1

事業名	21700 地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画		
			目	18	地籍調査費						
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%
地籍調査実施面積	19,881ha	20,320ha	24,881ha

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	194,166	145,829	161,166	194,166	152,510	6,681
特定財源	国費()					
	県費(地籍調査事業費3/4)	144,552	107,711	120,000	113,406	5,695
	その他()					
一般財源	49,614	38,118	41,166	74,166	39,104	986
個票枝番	主な事業内容					
	測量等委託	193,000	144,758	160,000	151,404	6,646

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		161,166
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
211,862	161,166	161,166	0	
158,158	120,000	120,000	0	
53,704	41,166	41,166	0	
査定額	説明			
160,000	地籍調査測量			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 4.01km ² (高山地域0.32km ² 丹生川地域1.56km ² 清見地域0.17km ² 久々野地域0.17km ² 朝日地域0.27km ² 国府地域0.74km ² 上宝地域0.78km ²)
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増加することができた。 ・着実な事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・令和2年度からの国第七次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 4.39km ² (高山地域1.26km ² 丹生川地域0.84km ² 清見地域0.62km ² 久々野地域0.19km ² 朝日地域0.94km ² 国府地域0.30km ² 上宝地域0.24km ²)
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増加することができた。 ・着実な事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・国第七次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画、環境基本計画		
			目	19	環境政策費						
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	8.7万トン	算出中	12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,850	2,299	2,850	2,850	2,124	△ 175
特定財源	国費()						
	県費(森林づくり交流推進事業費 68/100)	1,700	1,300	1,700	1,700	1,166	△ 134
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	400	430	400	400	381	△ 49
一般財源		750	569	750	750	577	8
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	2,700	2,160	2,700	2,700	2,024	△ 136
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	50	150	150	100	50

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		2,850
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,482	2,850	2,850	0	
1,418	1,700	1,700	0	
333	400	400	0	
731	750	750	0	
査定額	説明			
2,700				
150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 10.67ha) ・みどりとふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、利用間伐から保育間伐に変更し実施した。引き続き、現地の状況を確認し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 8.95ha) ・みどりとふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画		
			目	19	環境政策費						
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助 ・市産材使用量に応じ、家具等木製品を贈呈する地産外消タイプの実施 ・産直住宅建設促進事業者の活動への補助 ・県産直住宅組合等への負担金
----	--------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%
市産材使用量	1,876m ³ /年	1,755m ³ /年	2,000m ³ /年

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	43,390	37,459	43,090	43,090	35,557	△ 1,902	
特定財源							
国費()							
県費(匠の家づくり支援事業費 1/2)	320	250	320	320	250	0	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	13,000	8,600	8,000	8,000	7,000	△ 1,600	
一般財源	30,070	28,609	34,770	34,770	28,307	△ 302	
個票枝番	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成	30,390	30,680	30,390	30,390	30,621	△ 59
	東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業	12,000	5,779	12,000	12,000	4,236	△ 1,543
	高山・中津川創生連携協議会負担金	800	800	500	500	500	△ 300

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		37,950
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
36,950	37,950	37,950	△ 5,140	
250	250	250	△ 70	
		600	△ 7,400	
36,700	37,700	37,100	2,330	
査定額	説明			
30,250				
7,000				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 高山市匠の家づくり支援事業補助金(建築主市内建築型)76棟(市外建築型)28棟 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金(中津川市連携事業)58棟(市産材291㎡) 産直住宅建設促進事業補助金
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・事業開始から3か年が経過した中津川市連携事業は、事業のPRなどにより、徐々に企業などに利用されており、利用材の増加につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・中津川市連携事業は、高山市産材使用量が増加している。次年度以降も、中京圏を中心に高山市産材の利用拡大を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 高山市匠の家づくり支援事業補助金(建築主市内建築型)85棟(市外建築型)20棟 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金(中津川市連携事業)43棟(市産材218㎡) 産直住宅建設促進事業補助金
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・事業開始から4か年が経過した中津川市連携事業は、これまでで初めて高山市産材使用量が減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	・中津川市連携事業は、事業のPRを強化し、中京圏を中心に市産材の利用拡大を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53100 林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	1	林業総務費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	35,997	34,850	35,664	65,664	64,730	29,880	
特定財源							
国費()							
県費(県移譲事務交付金)	375	385	385	385	211	△ 174	
その他(使用料、負担金等)	120	133	120	120	133	0	
一般財源	35,502	34,332	35,159	65,159	64,386	30,054	
個票枝番	主な事業内容						
	林道の修繕工事	30,000	29,300	30,000	60,000	59,378	30,078
	林道の維持管理	3,000	2,718	3,000	3,000	2,856	138

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		35,625
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
35,756	35,625	35,625	△ 39	
200	211	211	△ 174	
130	120	120	0	
35,426	35,294	35,294	135	
査定額	説明			
30,000				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・林道修繕工事 38件 ・林道管理委託 16件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・林道修繕工事 66件 ・林道管理委託 18件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53200 市有林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		38,519	36,298	17,920	17,920	11,612	△ 24,686
特定財源	国費 ()						
	県費 (市有林整備事業費 68/100、80/100、100/100)	10,000	9,516	10,400	10,400	4,371	△ 5,145
	その他 (物品売払収入、市有林整備事業雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	19,400	18,768	3,120	3,120	4,241	△ 14,527
一般財源		9,119	8,014	4,400	4,400	3,000	△ 5,014
個票枝番	主な事業内容						
	市有林の整備工事	33,000	30,957	14,300	14,300	8,224	△ 22,733

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		19,520
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
19,849	19,520	19,520	1,600	
9,665	10,600	10,600	200	
665	2,260	2,560	△ 560	
9,519	6,660	6,360	1,960	
査定額	説明			
15,900	保育間伐ほか			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・間伐 49.86ha (丹生川 22.26ha、久々野 27.6ha) ・作業道修繕 3件
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を活用し事業を実施したが、補助金の配当が見込みより減額されたことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業者等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・間伐 20.36ha (久々野 6.21ha、高根 10.15ha、国府 4.00ha) ・作業道修繕 3件
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を活用し事業を実施したが、補助金の配当が見込みより減額されたことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務の林業事業者等への長期委託を進める。 ・業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材の育成を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げて助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%
市補助を活用した間伐材搬出量	10,853m ³ /年	10,121m ³ /年	12,000m ³ /年
市補助を活用した未利用材搬出量	11,413m ³ /年	11,120m ³ /年	12,000m ³ /年

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		90,000	66,833	80,000	80,000	64,402	△ 2,431
特定財源	国費 (緑の保全事業費 1/2)	1,000	1,125	1,000	1,000	1,125	0
	県費 (緑の保全事業費 1/2)	9,000	7,459	6,000	6,000	5,768	△ 1,691
	その他(緑の基金利息収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	32,677	37,842	13,055	13,055	12,209	△ 25,633
一般財源		47,323	20,407	59,945	59,945	45,300	24,893
個票枝番	主な事業内容						
	間伐に対する助成	25,000	16,328	23,000	23,000	16,420	92
	間伐材利用に対する助成	18,000	16,273	17,000	17,000	15,175	△ 1,098
	未利用資源活用に対する助成	28,000	23,712	27,000	27,000	23,207	△ 505
	自伐林家型の森林整備に対する助成	9,000	7,341	6,000	6,000	5,165	△ 2,176

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		70,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)		
70,694	70,000	70,000	△ 10,000		
1,200	1,200	1,200	200		
7,850	7,300	7,300	1,300		
2,415	2,637	38,217	25,162		
59,229	58,863	23,283	△ 36,662		
査定額	説明				
18,000					
15,000					
23,000					
7,000	広葉樹施業の追加				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業 267.45ha ・間伐作業道開設事業 3,232.0m ・軽作業道開設事業 1,501.1m ・間伐材利用促進事業 10,853.478m³ ・未利用資源活用促進事業(集運型 10,519.102m³)、(買取型 893.6m³) ・自伐林家型地域森林整備事業 26.59ha、L=250m ・人工造林 1.99ha ・下刈 4.91ha
評価等	・平成30年7月の豪雨災害により林道等の一部が被災したため、間伐は予定した事業量ができなかったが、木材搬出率を高めるよう努めたことにより、間伐材搬出量は増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業 286.05ha ・間伐作業道開設事業 9,939.0m ・軽作業道開設事業 1,509.2m ・間伐材利用促進事業 10,121.097m³ ・未利用資源活用促進事業(集運型 10,144.682m³)、(買取型 975.27m³) ・自伐林家型地域森林整備事業 22.02ha、L=100m ・人工造林 1.47ha ・下刈 4.87ha
評価等	・作業道の開設が大幅に増加し、次年度以降の間伐に向けた路網整備ができたため、間伐の事業の拡大が期待できる。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。 地域の森林づくりを担う林業グループを育てる。 美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。 高山市美しい森林づくり実行委員会による講演会および研修会等を開催する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
森林技術者数	178人	178人	200人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,129	946	1,200	1,200	1,069	123	
特定財源							
国費()							
県費(林業改良普及事業費 1/2)	350	300	350	350	300	0	
その他()							
一般財源	779	646	850	850	769	123	
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動に対する助成	700	600	700	700	600	0
	森林技術者の育成確保	150	150	150	150	150	0
	林業就業の促進	350	196	350	350	319	123

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,361	2,500	2,500	1,300
350	350	350	0
3,011	2,150	2,150	1,300
査定額	説明		
700			
450	就業体験ツアーの実施		
1,350	林業就業ガイダンス、林業等PR映像制作		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、チェーンソー研修会の開催や、林業就業促進ツアーを開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの活動は、種子採取、育苗からポット苗植林などの育林活動から、伐採時の選木や、チェーンソー自立研修、木の駅視察など利用販売までと再造林の意識醸成が高まっている。 広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 森林、林業に興味を持つ市民が増えるよう、各林業グループの視察研修や林業経営セミナーによる情報収集を支援することにより、情報発信を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、林業就業促進ツアー、先進地視察を開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの活動は、種子採取、育苗からポット苗植林などの育林活動から、伐採時の選木や、チェーンソー自立研修、重機研修まで広範囲に及び、再造林への意識が高まっている。 広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 森林、林業に興味を持つ市民が増えるよう、各林業グループの視察研修や林業経営セミナー等を支援するとともに、情報発信を推進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53240 林道整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担 林道の早期完成 林道改良の実施 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 高山市の受益者負担金を支出する。 受益者組合への補助金を交付する。 県代行業業に対する負担金の支払い。 林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	43,119	36,891	42,839	42,839	36,465	△ 426	
特定財源	国費()						
	県費(林道改良事業費 1/2、6/10)	14,920	14,350	15,700	15,340	990	
	その他()						
一般財源	28,199	22,541	27,139	27,139	21,125	△ 1,416	
個票枝番	主な事業内容						
	林道橋りょう点検	3,200	2,916	4,500	4,500	4,290	1,374
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	7,500	3,458	7,500	7,500	3,598	140
	林道改良工事費	24,000	23,234	24,000	24,000	22,923	△ 311
	大規模林道賦課金元利補給金	6,332	6,332	4,749	4,749	4,748	△ 1,584

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
45,400	45,214	45,214	2,375
17,760	17,700	17,700	2,000
27,640	27,514	27,514	375
査定額	説明		
7,000			
7,500			
25,000			
3,624			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線整備済延長 10,016m 宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付 2組合 林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=41.5m (清見) 夏殿~大倉線 L=37.0m (上宝) 双六~瀬戸線 L=33.0m 林道橋りょう点検 7橋 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設) 引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) 引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線整備済延長 10,114m 宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付 2組合 林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=32.0m (清見) 夏殿~大倉線 L=46.5m (上宝) 双六~瀬戸線 L=41.0m 林道橋りょう点検 4橋 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設) 引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) 引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 	

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をすとも、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。	概要	・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	32.7	35.1	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	29,718	27,904	16,112	16,112	14,901	△ 13,003	
特定財源							
国費()							
県費(生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10)	22,500	21,227	10,800	10,800	10,109	△ 11,118	
その他()							
一般財源	7,218	6,677	5,312	5,312	4,792	△ 1,885	
個票枝番	主な事業内容						
	施設の維持管理	4,982	4,192	5,312	5,312	4,643	451
	里山林整備工事	5,000	4,968	800	800	792	△ 4,176
	飛騨美濃せせらぎ街道沿線の景観整備	20,000	18,743	10,000	10,000	9,466	△ 9,277

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		15,381
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,752	15,381	15,381	△ 731	
9,500	9,900	9,900	△ 900	
6,252	5,481	5,481	169	
査定額	説明			
4,981				
400				
10,000	せせらぎ街道沿道修景			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林の利用者数 99,272人 遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 施設の修繕(てあいの森 取水施設修繕、トイレドア修繕・洗心の森 法面修繕工事 他) 観光景観林整備(除間伐 65.21ha)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道等の適切な維持管理を行う。 計画的な施設の修繕を行う。 観光景観林としての森林整備を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林の利用者数 118,817人 遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 施設の修繕(てあいの森 取水施設修繕 他) 観光景観林整備(除間伐 17.79ha)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道等の適切な維持管理を行う。 計画的な施設の修繕を行う。 観光景観林としての森林整備を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53260	100年先の森林づくり推進事業費 (森林整備地域活動支援事業費)	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
				款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
				項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
				目	2	林業振興費						
担当課	林政部	林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・計画的かつ一体的な森林の施策が行われるようにする。	概要	・森林施策の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助 ・国版森林環境税を活用した所有者意向調査検索システムの構築、森林経営管理の支援、境界の明確化
----	----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
森林境界調査事業実施面積	-	93ha	1,600ha
森林経営管理制度に基づき市が実施した森林整備面積	-	-	650ha

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		33,089	5,245	70,590	70,590	49,963	44,718
特定財源	国費()						
	県費(森林整備地域活動支援事業費 1/2、3/4)	22,545	4,072	15,045	15,045	3,115	△ 957
	その他()						
一般財源		10,544	1,173	55,545	55,545	46,848	45,675
個票枝番	主な事業内容						
	森林整備地域活動支援事業補助	30,000	5,170	20,000	20,000	4,153	△ 1,017
◎ 1	森林経営管理アドバイザー等の配置			19,200	19,200	16,997	16,997
◎ 2	森林管理情報のシステム構築	3,000	0	23,800	23,800	22,481	22,481
◎ 3	森林境界明確化の推進			7,500	7,500	5,971	5,971

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		92,690
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
63,675	92,690	92,690	22,100	
7,435	7,545	7,545	△ 7,500	
56,240	85,145	85,145	29,600	
査定額	説明			
10,000				
29,000				
23,600				
30,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・協定締結者数 2団体 ・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等
評価等	・平成30年度に発生した激甚災害による林道等の被災により、現地確認が困難となったことから、事業の実績が減となった。
次年度以降の考え方(担当課)	事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・協定締結者数 2団体 ・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等 ・森林情報管理システム導入、データ編集(国府地域) ・森林境界明確化事業 新宮町、荘川町野々俣(93.26ha) ・森林整備意向調査の実施(新宮町、荘川町野々俣、国府町藪輪)
評価等	・市内で発生した豚コレラの影響により、現地踏査が困難となる団地が発生し、事業の実績が減となった。 ・森林経営管理アドバイザー等により、森林環境譲与税の活用及び施策遂行を着実に推進している。 ・森林環境譲与税を活用した意向調査や境界明確化事業の推進により、早期の森林整備が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。 ・森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づく意向調査、境界明確化の加速化を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費(森林整備地域活動支援事業費)	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課
枝番・内容	1 森林経営管理アドバイザー等の配置		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2233	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・森林環境譲与税を活用して、100年先の森林づくりに向けた森林管理を進める。	概要	・森林経営管理アドバイザー等の配置
----	--	----	-------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	19,200
主な経費	・森林経営管理アドバイザー等の配置	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	19,200
	繰越	
	補正等	
	最終	19,200
決算額		16,997
対前年度増減額(決算)		16,997

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	29,000
主な経費	・森林経営管理アドバイザー等の配置	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林経営管理アドバイザー等の配置 森林情報管理システムの調整及びシステムを利用した森林資源の調査、現地確認、アクションプラン及びロードマップの作成 森林所有者の意向調査の実施、所有者への働きかけ等
[スケジュール]	・4月 配置開始 ・通年 事業進捗状況確認
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業実績・評価等	
[事業実績]	・岐阜県地域森林監理士1名、林業専門員1名、林業事務員1名を市林務課へ配置 ・地元森林組合から専門的な知見を持ち、市内森林に精通した職員を受け入れ、森林経営管理制度による事業(意向調査125ha、森林境界明確化事業93.26haを実施)などを着実に推進した。
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林経営管理アドバイザー等の配置 森林情報管理システムの調整及びシステムを利用した森林資源の調査、現地確認、アクションプラン編集及びロードマップの作成 森林所有者の意向調査の実施、所有者への働きかけ等
[スケジュール]	・4月 配置開始 ・通年 事業進捗状況確認
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費(森林整備地域活動支援事業費)	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課
枝番・内容	2 森林管理情報のシステム構築		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2233	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・森林環境譲与税を活用して、100年先の森林づくりに向けた森林管理を進める。	概要	・森林管理情報のシステムの構築
----	--	----	-----------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	23,800
主な経費	・森林管理情報のシステム構築	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	23,800
	繰越	
	補正等	
	最終	23,800
決算額		22,481
対前年度増減額(決算)		22,481

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	23,600
主な経費	・森林情報管理システムのデータ編集	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林管理情報のシステム構築 ソフト、エリア設定、データ照合分析 法務局公図データ隣接配置、国土調査実施地区地図データ編集 他
[スケジュール]	・4月 発注 ・3月 完了 ・通年 事業進捗状況確認

事業実績、評価等	
[事業実績]	・森林情報管理システムの導入及びデータ整備(約5,000ha)を実施した。
[評価等]	・森林情報管理システムの導入により、所有者情報と地図情報が段階的に整備され、境界明確化箇所を選定などの事務を効率化することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林管理情報のシステムのデータ編集 データ照合分析、法務局公図データ隣接配置 国土調査実施地区地図データ編集 他
[スケジュール]	・4月 発注 ・3月 完了 ・通年 事業進捗状況確認

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費(森林整備地域活動支援事業費)	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課
枝番・内容	3 森林境界明確化の推進		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2233	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・森林環境譲与税を活用して、100年先の森林づくりに向けた森林管理を進める。	概要	・環境保全区域における境界明確化の推進
----	--	----	---------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	7,500
主な経費	・森林境界明確化事業	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	7,500
	繰越	
	補正等	
	最終	7,500
決算額		5,971
対前年度増減額(決算)		5,971

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	30,000
主な経費	・森林境界調査事業	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林境界明確化事業 環境保全区域における森林境界の確認、境界測量
[スケジュール]	・4月 発注 ・3月 完了 ・通年 事業進捗状況確認

事業実績、評価等	
[事業実績]	・森林境界明確化事業(新宮町、荘川町) 93.26ha
[評価等]	・森林所有者の世代交代などにより、境界が不明のため未整備となっていた森林の境界明確化事業を実施し、森林整備に向けた準備を進めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・森林境界調査事業 環境保全区域における森林境界の確認、境界点設置
[スケジュール]	・4月 発注 ・3月 完了 ・通年 事業進捗状況確認

事業シート(平成31年度決算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	3	分収造林費						
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
木材生産量	135,333m ³	算出中	149,000m ³
伐採された木材の利用率	57%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	18,117	16,900	18,120	18,120	17,452	552
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(分収造林事業受託収入)	18,000	16,790	18,000	18,000	17,344	554
一般財源	117	110	120	120	108	△ 2
個票枝番	主な事業内容					
	分収造林の整備	18,000	16,790	18,000	17,344	554

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
8,663	8,728	8,728	△ 9,392
8,535	8,600	8,600	△ 9,400
128	128	128	8
査定額	説明		
8,600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 23.74ha (丹生川地域、荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 22.34ha (丹生川地域、荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに